



パワー浜松ロータリークラブ週報

クラブテーマ: 全員参加で繋がりをより深めあおう

パワー浜松ロータリークラブ (2015-16年度 会長: 知久 武 幹事: 鈴木 尚孝)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC

第628回例会 6月7日 AM7:30~8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

●司会: 堀内善弘 山崎益男 ●点鐘: 知久武

●ゲスト: 一般社団法人グローバル人財サポート浜松 代表 堀永乃様
及び学生8名様

●議事: 新世代奉仕PJ「浜松の学生達のボランティア活動PR事業」

〈出席報告〉

会員数 79名

出席数 68名 出席率 86.07%

前々回出席率 92.31%

■会長挨拶

今日は、たくさんの若者の話を楽しみにしています。今年度も残すところあと1ヶ月となりました。先日、会長幹事会で次年度会長幹事への引継ぎ会がありました。次年度近藤会長、田淵幹事宜しくお願い致します。



知久会長です。浜名湖カントリークラブ様と知久会長より賞品をいただき、多くの方に賞を受けて頂くことができました。終了後には表彰式・懇親会を開催し盛り上がる事ができました。慣れないゴルフ幹事でご心配やご迷惑をお掛け致しましたが1年間ありがとうございました。

知久会長: 本年度最後の青空例会で会長賞を用意させていただきましたが、私が優勝で持ち帰ってしまい大変失礼致しました。

金山会員・小林会員・山下会員: 祝、鮎開禁! 今年も各地で夏の風物詩鮎釣りが続々開禁になりました。今年ほどこの川も気温が低かった為か鮎の育成が遅く小型が多く低調です。さて、今年9月に伊豆の狩野川にて「セクスイハイム東海カップ」鮎釣友釣り大会が開催されることになりました。これは小林さんのお力添えで私の釣友日本一の若き名人京都の高橋祐次君をゲストに迎え、新企画山下さんの企画協力により150名の釣り師による大会となり只今選手募集中です。伊豆の国市観光協会の後援、釣り具メーカー13社の協賛、住宅メーカーの異色の大会となり釣り師の間では大きな話題となっています。大会は9月19日、18日は子供達への釣り教室もありますので、ご希望の方は温泉に入りながら遊びに来て下さい。

池田龍郎: 今週末11日・12日の2日間に亘って浜名湖ガーデンパーク西側駐車場を会場にモータースポーツとサイクルスポーツの祭典「はままつスポーツまつり」を開催します。本大会は危険を察知する直感力と危険回避の技術習得にモータースポーツが有効である事から「交通安全の啓蒙と実践」を目的に回を重ねてきました。お時間の許す方は是非会場に足をお運び下さい。

滝浪寛会員: 5月22日、4姉妹の長女が結婚致しました。幸せを祈っています。

村井睦彦会員: 先日は父の葬儀に際しお心遣いありがとうございました。父も喜んでいと思います。

■幹事報告

・ロータリーの友、ガバナー月信を配布

■入会式

三枝潤也会員(再入会)
約3年半前に仕事の都合で出席できず退会させて頂きましたが、再入会を認めて頂きありがとうございました。今回は出席



率にこだわって活動していきますので宜しくお願い致します。仕事は放送製作会社で、主にTV・ラジオ番組制作、市町村関係の文化事業のプランニング等を行っています。

■スマイル

知久会長・鈴木幹事: 学生の皆さん、本日はお忙しい中、早朝よりお話し誠にありがとうございます。皆様すばらしい活動の輪が益々広がり社会貢献に繋がる事を心より祈念致します。

新世代奉仕プロジェクト: 本日は堀様、学生の皆さん卓話ありがとうございました。これからのご活躍をお祈りしています。

後藤達朗会員: 6月5日、今年度最後の青空例会が15名の参加で開催されました。全体としてレベルの高い戦いとなり優勝は

■ 議事

「浜松市内の学生たちのボランティア活動PR事業」

講師 堀 永乃 様

グローバル人材サポート浜松の活動について、在住外国人の介護人材の育成で浜松在住の外国人に対して介護職についていただくための育成を行っています。



又、次世代育成として大学生を中心とした次世代の育成も行っています。本日参加している学生のほとんどが浜松以外の出身です。今後人口減少や若者流出の可能性のある浜松で、学生たちが浜松で生活し、浜松で就職し、浜松で家庭を築いていけるように活動しています。

具体的には、学生ボランティアネットワークで社会貢献活動を行っています。普段は学生として学問にはげんでいますが、身近のさまざまな課題について気づき、それをどのようにして解決していくかを取り組んでいます。そんな学生同士でネットワークを作り団体の質の向上、学生の知識、技術の向上を図りよりよい社会創りを目指しています。

現在、11 団体のリーダー、副リーダー 22 名で構成しています。今日は 4 団体に話をさせて頂きます。

WISH (Wide International Support in Hamamatsu)

静岡文化芸術大学 3年 高橋由多
静岡大学 2年 金丸幸稔

外国人の子どもへの教育支援を行う団体で静岡文化芸術大学、静岡大学、浜松学院大学の学生 34 名で構成。



日本文化と母国文化、言語の違いから不登校や不就学といった問題を起こしてしまう事で教育を受ける機会を奪われることがないようにさまざまな活動をしています。



日本生まれ日本育ちの外国人子どもの 30%が日本文化でなく親の母国文化で育っている現状で、そのまま日本の公立小中

校に入学し、字の読み書きができない、日本語が話せない等の文化習慣・言語の違いから不登校や不就学につながっています。WISH では、親が持つ日本の公立小学校への入学に対する不安と偏見を軽減する事として、外国籍児童就学前学校体験教室「ぴよぴよクラス」、就学後教育支援「SAT (Super Assistant Teacher)」を行っています。「ぴよぴよクラス」では就学前に小学校の体験教室を開き、給食や掃除、机を並べての模擬授業などを行っています。「SAT」では、実際の授業において、外国籍児童の学習面・生活面での困難をサポートしています。これらの活動で児童にとって、友達ができる・学校は楽しい場所という認識を持ち自信を持つことで不安を解消し、保護者にとって日本の公立小学校とは何かを知ることで先入観・偏見を解消し、安心感・信頼感を持つことができます。

これらの活動で外国籍児童と関わることで WISH の学生はグローバルな視点を持つことができ、異文化理解にもつながっています。又、社会に出る前に社会人としてのマナーを学ぶことができ、成長させて頂いています。今後も外国籍児童の理解と協力を求め支援活動を充実させていきたいです。

Thunder Birds ~僕らが今できること

代表 吉田 真由美
副代表 増田 桂奈

2008 年の四川省大震災の支援活動として発足しました。

「必要なところに必要な支援を僕らが今できること」をモットーに日々活動しています。学生自らが考え行動す



ることで自信の成長を感じると共に浜松の地域が元気になることを目標にしています。さまざまな活動の中で今日は、「まもろーる」の活動について紹介致します。都田小学校と細江警察署と連携して行っている活動で、小学生の下校見回りのボランティアです。児童の集団下校に付き添い安全を守ると共に住民のつながりを深め防犯意識を高める事を目的にしています。パトロール活動をすることで住民の地域に対する安心感が生まれ安心安全な都田地域づくりに貢献しています。

Thunder Birds の活動を行うことで学生自身の成長を感じています。コミュニケーション能力や人前で発言する機会が増え

積極的にになり自信につながっています。

HGU防災サークル

代表 村田

「命を守る」をテーマに活動し、東日本大震災支援活動を行い現地の今を伝えていきます。現地でボランティア活動をして災害の悲惨さ、命の大切さ、命を守る事の重要性を



教えられました。南海トラフでの地震が想定されているこの浜松で大切な人の命を守るため活動しています。主な活動として東日本大震災の現地へ年2回春と秋に行きボランティア活動をしています。今は心のケアを中心に現地のニーズに応じています。現地での活動を浜松に持ち帰り写真展などのイベントを通して現地の今を伝えていきます。又、大きな災害や地震が起きた時、緊急義援金活動を行っています。

今後の目標として、災害に負けない強い社会をつくることです。そのためには地域コミュニティを構築し自分たちの住む地域の水害、がけ崩れ箇所などの防災上の注意点を認識する事が重要と考えています。



ハロー砂山

代表 山田

駅南サザンクロスの復興をテーマに活動しています。

駅南サザンクロスは日本でも有名なシャッター通りとなってしまう、これまで何度か活性化が取り組まれましたがどれも失敗に終わりました。毎月第一、第三土曜日に朝市が開かれています、その時には多くの人が集まります。現地調査してみると若者の利用率が低く 60~80 歳の利用者がほとんどでした。



サザンクロス活性化の条件として、①普段から人が来る事 ②老若男女が来る事 ③シャッターが開く事 と考えています。今は第三土曜日朝市に参加し NPO 法人とうもの里の商品を販売させてもらい活動しています。この活動は静岡新聞にも掲載されました。今後はサザンクロス関係者との協働を増やしイベント開催など若者が集まるためのきっかけを作りたいです。

サザンクロス活性化の条件として、①普段から人が来る事 ②老若男女が来る事 ③シャッターが開く事 と考えています。今は第三土曜日朝市に参加し NPO 法人とうもの里の商品を販売させてもらい活動しています。この活動は静岡新聞にも掲載されました。今後はサザンクロス関係者との協働を増やしイベント開催など若者が集まるためのきっかけを作りたいです。